

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和6年9月30日(2024.9.30)

【公開番号】特開2023-91819(P2023-91819A)
【公開日】令和5年7月3日(2023.7.3)
【年通号数】公開公報(特許)2023-123
【出願番号】特願2021-206619(P2021-206619)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月19日(2024.9.19)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

20

遊技盤の正面に形成された遊技領域に向かって遊技球を発射する発射手段と、前記遊技領域を流下する遊技球を入球させ、遊技球の入球に基づいて所定の抽選を実行する始動入球手段と、前記始動入球手段への遊技球の入球に基づいて、変動表示を実行する変動表示手段と、前記変動表示手段に演出を実行させることが可能な演出実行手段とを備える遊技機であって、

前記演出実行手段は、

前記始動入球手段への遊技球の入球順に、前記変動表示手段にて変動表示を実行する前の保留情報を記憶する複数の保留領域に複数の保留情報を記憶し、当該保留情報を遊技回ごとにシフトさせることが可能に構成され、

30

所定回数の遊技回にわたって演出を継続させる第1継続演出を発生させる第1継続演出保留情報とさせることを判断可能な第1継続演出判断手段と、

所定回数の遊技回にわたって演出を継続させ、前記第1継続演出とは異なる種類の第2継続演出を発生させる第2継続演出保留情報とさせることを判断可能な第2継続演出判断手段とを備え、

前記第1継続演出および前記第2継続演出は、遊技回にて演出を実行するタイミングが異なるタイミングで発生し得るように構成され、

本遊技機は、

前記第1継続演出保留情報による前記第1継続演出の発生よりも前に消化される前記複数の保留領域に記憶された保留情報に基づく演出に前記第2継続演出を含む状況下において、当該第2継続演出が行われる最終遊技回に係る遊技回中の演出として、当該遊技回において前記第1継続演出保留情報に基づく前記第1継続演出を前記変動表示手段に実行させることが可能に構成されることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

50

本発明の遊技機は、遊技盤の正面に形成された遊技領域に向かって遊技球を発射する発射手段と、遊技領域を流下する遊技球を入球させ、遊技球の入球に基づいて所定の抽選を実行する始動入球手段と、始動入球手段への遊技球の入球に基づいて、変動表示を実行する変動表示手段と、変動表示手段に演出を実行させることが可能な演出実行手段とを備える遊技機であって、演出実行手段は、始動入球手段への遊技球の入球順に、変動表示手段にて変動表示を実行する前の保留情報を記憶する複数の保留領域に複数の保留情報を記憶し、この保留情報を遊技回ごとにシフトさせることが可能に構成され、所定回数の遊技回にわたって演出を継続させる第1継続演出を発生させる第1継続演出保留情報とさせることを判断可能な第1継続演出判断手段と、所定回数の遊技回にわたって演出を継続させ、第1継続演出とは異なる種類の第2継続演出を発生させる第2継続演出保留情報とさせることを判断可能な第2継続演出判断手段とを備え、第1継続演出および第2継続演出は、遊技回にて演出を実行するタイミングが異なるタイミングで発生し得るように構成され、本遊技機は、第1継続演出保留情報による第1継続演出の発生よりも前に消化される複数の保留領域に記憶された保留情報に基づく演出に第2継続演出を含む状況下において、この第2継続演出が行われる最終遊技回に係る遊技回中の演出として、この遊技回において第1継続演出保留情報に基づく第1継続演出を変動表示手段に実行させることが可能に構成されることを特徴とする。

10

20

30

40

50